４月２２日　　**テーマ：モーセの誕生**

聖書箇所：出エジプト記２章１節～１０節

◆今日のみことば

“その子が大きくなったとき、女はその子をパロの娘のもとに連れて行った。その子は王女の息子になった。彼女はその子をモーセと名づけた。彼女は、「水の中から、私がこの子を引き出したのです」と言ったからである。”出エジプト記２章１０節

◆メッセージ

イスラエル人がみなでエジプトに住むようになったヨセフさんの頃から、400年くらい経ちました。エジプト人は、人数が増えていくイスラエル人を恐れて、奴隷にしていました。エジプトの王様はきびしい命令を出しました。「男の子が産まれたらすぐに殺すように。」イスラエル人は、神さまに助けてくださいと叫び祈っていました。そんなころ、一人の男の子が生まれました。こんなにかわいい子を殺せません。お母さんはなんとか隠して育てていました。赤ちゃんが大きな声で泣くようになり、隠しきれなくなったので、かごに入れてナイル川に流しました。エジプトの誰かが川から引き上げてくれるかもしれません。神さまが守ってくれるようにお祈りしたことでしょう。男の子のお姉さんは心配で遠くから見ていました。すると、なんと、エジプトの王女がちょうど川に水浴びに来ていたのです。そしてかごの中で泣いている赤ちゃんを見つけ、

かわいそうに思って自分の子どもとして育てることにしました。それだけでなく、その子が乳離れするまで本当のお母さんが育てることになったのです。

この男の子はモーセと名づけられました。モーセはエジプトの王子となったので、殺されずにすみました。神さまには、このモーセをリーダーにして、エジプトで苦しめられているイスラエル人を救い出して、かれらに与えると約束された場所「カナン」に住まわせる、という計画があったのです。神さまは、イスラエルの民の祈りを聞いておられました。ほんとうに神さまはご自分の民を愛しておられ、約束をまもられるお方です。私たちもそれぞれ神さまに守られていて、神さまの特別なご計画の中で生かされ、働くのです。

◆お祈り

「神さま、いつも私を愛し、守っていてくださってありがとうございます。私を神さまの特別なご計画の中で働かせてください。」

（羽村聖書教会牧師　井原安祐）